

河鍋暁斎記念美術館（南町4-36-4 ☎441-9780）11～12月企画展示

## 企画展「狩野派 暁斎画塾 —臨写ヲ以初メ臨写ヲ以テ終ル—」展 同時開催 特別展

「Respect! 暁斎。-暁斎を敬愛する様々な作家による暁斎をテーマにした作品展-」

会期：11月1日（火）～12月23日（金・祝） 休館日：11/26～30、毎週木曜

入館料：一般540円、中～大学生430円、小学生以下210円、団体要予約（20名以上）

暁斎は、数え10歳で駿河台狩野派の前村洞和、ついでその当主・狩野洞白陳信に学び、19歳という異例の若さで「洞郁陳之」（とういく のりゆき）の画号をいただいて修業を終えました。更に、晩年には、当時の駿河台当主・洞春から画法尊守を依頼されて宗家の中橋狩野永恵立信へ再入門したほど、暁斎は狩野派を強く意識した絵師でした。

企画展では、暁斎が集めた粉本（ふんぼん、お手本のこと）や、弟子のために暁斎が描いた絵手本、更には河鍋家に伝わる下絵の中から、人物画を中心にご覧いただきます。

また、第3展示室では、若手の画家が暁斎の作品を模写し、あるいは暁斎のモチーフを取り入れて描いた作品などを展示した特別展「Respect! 暁斎。」を開催しております。

河鍋暁斎記念美術館のHPへはこちらから→  
<http://kyosai-museum.jp/>



### 絵手本 治承養和寿永年間の人 暁斎 紙本淡彩

暁斎が弟子の為に描いた絵手本のひとつです。治承・養和・寿永は、いずれも平安時代の末期の年号。暁斎は、この頃に流行した「白拍子（しらびょうし）」と呼ばれる歌舞を生業とする女性を描いています。頭に、立ち烏帽子（えぼし）を被り、下級官人が着用した水干（すいかん）と紅長袴をつけて太刀を帯びた姿、つまり男装をして舞を舞ったので「男舞」ともいわれました。

## 南小学校ひまわり学級（特別支援学級）

こんにちは。南小学校ひまわり学級2学期の特集をお届けします。

9月24日（土）に、運動会がありました。今年度も昨年度に引き続き交流種目を行いました。ひまわり学級の児童と3～6年生有志によるダンスで、関ジャニ8の「前向きスクリーム」を踊りました。子供たちは、毎日、休み時間に練習を積み重ねました。「みんなで、楽しく踊ること」を目標に練習に取り組んできた交流ダンス。有志であるにも関わらず、大勢の南小の友達が積極的に参加してくれました。運動会当日は、全員が一つになり、にこにこ笑顔で踊ることができました。みんなで踊って盛り上がる、素敵な種目となりました。

10月に入ると、夏前から愛情を込めて育ててきたさつまいもを収穫しました。シャベルを使って

周りの土をよけて、さつまいもを傷つけないようにそっと取り出しました。子供たちは掘り出した芋を手にして、「大きい！」と目をきらきらさせていました。芋は、手作りスイートポテトにしてみんなで食べました。自分達で育てたさつまいもは、おいしさも格別でした。

10月19日には校外学習で、川口グリーンセンターへ行きました。バスで約30分の移動でしたが、マナーを守って行くことができました。子供たちは朝からワクワクしていましたが、グリーンセンターに着いてからは、熱帯植物を見学したり、ミニSLに乗りしたりと大満足だったようです。

これから、南っ子まつりや持久走大会、クリスマス会と、行事が続く2学期です。体調管理に気を付けながら、仲良く年末を迎えていきたいと思ひます。